



祝 川俣高等学校 創立百十周年



長く愛されてきた川俣高校

福島県立川俣高等学校は、今年で百十周年を迎えました。地域と社会に大きく貢献してきた歴史と伝統があり、県内で唯一の普通科と工業科の併設校で、これまでに約2万1千名の卒業生を輩出してきました。

川俣高校は、「確かな学力」、「進路実現」、「健全な心身」、「地域との連携」の4つを教育目標のキーワードに掲げています。また、丁寧できめ細やかな指導と進路実現に向けた指導体制を確立し、進学内定率・就職内定率ともに百パーセントを達成しています。今後も、地域に見守られながら、川俣高校はさらに発展し、愛され続けていくことでしょう。

川俣高校の未来を考える

川俣高校は、生徒数減少といった課題を抱えています。中学生にとって魅力ある学校となるために、これからの川俣高校の在り方について考える必要があります。

そこで、明治41年から脈々と受け継がれてきた伝統を守るために、川俣町では県立川俣高等学校活性化協議会を設立しました。

関係者で会議を行い、今後の川俣高校の発展のために、どのような特色と魅力ある学校にしていけば良いか研究を重ねています。

川俣町ドローンスクールや近畿大学「出張ゼミ」など、川俣町と川俣高校が連携した事業が始まっています。これからはますます活性化していく川俣高校に注目です。





福島イノベーション・コースト 構想による人材育成事業

福島イノベーション・コースト構想とは、東日本大震災及び原子力災害によって失われた産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指すものです。

今年から導入され、未来を担う人材を育成するために、県立高校8校で展開されている教育プログラムで、中通り地域からは、唯一川俣高校が選ばれました。

これまで、福島大学の教授を招いた講演や地元企業のベルグ福島やミツフジの講師を招いた講演などを行い、大学・企業と連携しながら取り組んでいます。また今後、近畿大学と連携した講座なども予定されており、未来を担う人材の育成に力を入れています。

写真の説明

1. 小型ドローンを操縦する様子。通常サイズのドローンの操縦も行っている
2. ベルグ福島で苗の育て方の説明を受ける
3. 産業技術総合研究所で技術開発を学ぶ
4. ミツフジの講師を招き、ウェアラブル製品を学ぶ
5. 福島大学の教授を招き、未来について考える
6. 町内企業の日ピスで機械の仕組みを学ぶ

